

岐阜県

くしはらむら
串原村

「わが町自慢」と題したこのコーナーでは、皆様からの町自慢情報を募集しております。道内外を問わず紹介していきますので、どしどしご投稿ください。今回は、串原村役場にお勤めの産業建設課長、平林春美さんに串原村の魅力をご紹介いただきます。



大野公園

ノが見事です。夏はアウトドアを、秋は美しい紅葉を、四季折々に楽しむことができます。

わが串原村が森林に恵まれているお話はしましたが、残念ながら海がない山間地のために、昔から食材には苦労してきたようです。そんななかでへボ（地蜂）は肉や魚にかわる貴重なタンパク源として食されてきました。へボとは、学名をクロスズメバチといいます。タンパク源としては、もちろん、健康増進に役立つ滋養源として親しまれてきました。おいしいお米とへボを醤油味でふつくと炊きあげるへボめしのほか、香ばしい食感のへボの甘露



クロスズメバチの巣

会員同士の親睦、県内外の愛好家との交流を深めながら、積極的な活動を続けていきたいと思っています。
またわが村には勇壮な音色を誇る郷土芸能の中山太鼓があります。県重要無形民俗文化財に指定されるもので、毎年10月第3日曜開催の中山神社大祭で披露されます。時期を合わせて、へボの里へどうぞお越しください。

問合せ

串原村役場

電話 0573-32111

串原村は、岐阜県の東南端に位置し、村の総面積の約84%を森林が占める緑深い山里です。愛知県と隣接し、この地方の銘柄材・東濃松の主要産地となっています。豊かな水にも恵まれており、清流として知られる矢作川は、夏のアユ釣りシーズンともなると多くの釣りファンで賑わいを見せます。昭和45年完成の矢作ダムによって誕生した人造湖・矢作湖は、今や串原村のシンボルです。満々と水をたたえる湖の湖畔に広がる大野公園は、大自然のなかのリゾートエリアとして親しまれ、村民の憩いの場であるとともに、たくさん観光客が訪れます。桜の名所でもあり、春は満開に咲き競うソメイヨシ



へボ料理

煮など数々のへボ料理は秘伝の郷土料理として、代々受け継がれています。食へておいしいへボには、実は別の楽しみ方もあるのです。春に森へ逃がした女王蜂が巣を作ったところ、森に入っただけで巣を探しをすることが、土のなかにある大きな巣を探するのは山里での宝探しといったおもしろさがあります。へボに親しむ父親の背中を見て育った私自身、幼少時代からへボへの関心を持っていました。串原村には專業養蜂家はいませんが、へボ愛好家はたくさんあります。近年、山林開発などにより全国的に減少するへボを守るべく、平成5年に発足した「くしはらへボ愛好会」はその代表です。私も事務局の一員ですが、へボの生態の研究をはじめ、



中山神社大祭